

生徒指導だより

郡山市立郡山第一中学校 生徒指導部発行
 発行責任者：生徒指導主事
 発行日：令和3年5月20日(木)
 < 第5号 >



コロナウイルス対策、万全に!

感染の急激な拡大に歯止めをかけ、医療提供体制の崩壊を防ぐため、「福島県新型コロナウイルス感染症非常事態宣言」が5月14日に発令されました。これに伴って、県内の全域を対象として実施している「緊急特別対策」が5月31日まで、拡大、強化されています。

季節の変わり目からか、今週に入り、学校を欠席する生徒が多くなっています。体調を崩すことは、抵抗力が弱まっている証拠。運動部活動にとっては中体連まであと一週間程度となった今、風邪を引かないことも勝負のひとつ。栄養・睡眠を十分とった自己管理は大切な作業です。コロナウイルス対策同様注意が必要です。

下に、18項目の感染症対策の方法を挙げますので、マスク着用を含め、自分自身の「新しい生活様式」をもう一度チェックしてみてください。

1 手洗いはこまめに丁寧に 	2 外から帰ってきたらうがいをしよう 	3 手洗い後は消毒を必ずしよう 	4 栄養をとって睡眠はしっかりと
5 リスクを正しく恐れよう 	6 部屋は適度な湿度を保とう 	7 人との距離を意識しよう 	8 こまめに換気しよう
9 間違った情報に振り回されない 	10 お年寄りを守ろう 	11 適度に身体を動かそう 	12 感染への偏見や差別はゼロ
13 必要以上の買い占めはダメ 	14 咳エチケットを意識しよう 	15 地元企業を応援しよう 	16 感染対策に取り組もう
17 他人のことも考えよう 	18 新型コロナウイルス セロ目指す 	<h1>COVID-19</h1> <p>～ 新しい生活様式 18の目標 ～</p>	

手洗いの大切さ!

100万個のウイルスも
 10秒の石けん洗い + 15秒の流水
 で数百個になる。
 2回繰り返すと数個になる。

ハンカチは忘れずに!

by 文部科学省

自分一人では生きられないウイルスは、人間の体内で増殖します。口から入ってくるのがほとんどですから、「マスク着用」に加え、「手洗い」や「うがい」は大切だということは分かります。

文部科学省では、上記のように「手洗い」について喚起しています。(各階手洗い場には掲示してあります)

生徒諸君! もう一度手洗いの仕方を考えてみてください。

学校に慣れてくるとおきる問題点・・・意識が必要です！

2ヶ月も経つと、学校生活にも慣れ、いろいろなことが習慣として定着してきます。逆に、慣れから来る「まあいいか!」「この程度で・・・」といった行動も目に付きます。こんなことはありませんか？

① 職員室や事務室、校長室前を通るときに大声を出して歩いている人はいませんか？

来客がいらっしゃるかもしれないし、電話で大事な連絡を聞いている最中かもしれない。そんなことを想像したら、走ったり、大声を出して騒いでいたりすることは、ちょっと『遠慮』することも必要ですよ！

② 学校生活にて、廊下ですれ違ってもあいさつができなくなっている人はいませんか？

友だちとの会話に夢中になって、先生方へのあいさつを忘れている生徒が出てきがち。会釈することすらせず、話に夢中になる。毎日お世話になっているのですから、廊下で出会った先生方には、自分たちの話をやめてでも、自分から声を出してあいさつすることが必要だと感じます。意外と自分の気持ちも晴れやかになりますよ！

③ 忘れ物が多くなってきてはいませんか？

1クラス1件の忘れ物が事務室に届くと、合計で20個以上になります。それを事務の先生は、毎日各学年に届けに行くことになります。特にこの時期からは、水筒の忘れ物が多くなります。最近は、忘れ物を持ってきてもらう電話を自宅にかけたのにもかかわらず、届いたものを放課後まで事務室に置いて、そのままにしている生徒も出てきました。自分で届けてもらっているのであれば、事務室に休み時間の間に届けてあるかどうか、確認や受け取りに向くのが常識。届けてもらうことを当然と思わず、感謝を行動とことばで表すことが必要だと思います。・・・それよりもまず、自分で自分の持ち物を管理し、忘れないように努力することが必要だと感じました。事務室の先生方は、家庭から届いたものに関しては、生徒の皆さんが早く欲しいものなのではないかと気が気ではないのです。

不審者遭遇について・・・、注意喚起です！

今年度は、4月・5月に1件ずつ一中の生徒が不審者に遭遇した情報があがっています。怖い思いをしたことを学校に伝えてくれました。そのたびに、放送で登下校の仕方については、お話ししてきたところです。福島県警少年課の文書を見ると、下記のような傾向があるようです。

声かけ事案の発生状況(特徴)

福島県警察本部少年課より

- ① 学生の下校時間帯(13:00～17:00)における発生が**約70%**
- ② 通学路等の路上における発生が**約90%**
- ③ 子どもひとりでのときの発生が**約70%**
- ④ 被害者の性別は、**男子約30%、女子約70%**

驚きなのが、②と③番。路上で起こっていたり、子どもが一人でいるところで被害に遭っているのならば、その対策をすることで、被害は確実に減ります。



～守るべきこと(対策)～

その1: 人通りの多い明るい道を、複数の友だち帰ること。

*特に、友だちと別れて一人になる時が注意。

その2: 寄り道、道草をせずにまっすぐ帰ること。

*明るいうちに自宅に到着できるといいと思います。

その3: 何かあったら大きな声で叫び、助けを求めること。

*出会ったら、相手との距離をしっかりと保つこと。

*本当に怖いとき、声って出ないそうです。勇気を持って！

その4: 保護者に伝え、警察に届けること。

その5: 怖い思いをした通学路は、道順を変えてみるなどして臨機応変な対処をすること。

不審者には出会わないことが一番！ 「自分は大丈夫」とは言えませんよ！